

リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立獅子ヶ谷小学校

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実



【個に応じた入力方法の選択】

タッチペン、キーボードなどは先生が使って見せてやりやすい使いやすい方法を自分で選んで使えるように伝えている。こうした経験を通してiPadを学習で活用することに、児童自身がわかりやすさや学習しやすさを感じている。



担当の先生のコメント

自己紹介カードや振り返りを書くときに提出フォルダにある友達への考えを他者参照できるようにした。初めから友達への考えを参照できるようにすると1人で考える力がつかないと思っていたが、友達への考えを見ていいと思った表現を取り入れてよりよくしようとするなど協働することで思考の広がりや深まりが見られた。

1 学年 図画工作

授業

すきまちゃんのすきまって どんなばしょ？

めあて：すきまちゃんといっしょにすきまちゃんのすきまを見つけよう
すきまちゃんけんがくツアーにいこう

《授業の流れ》

1 本時の課題確認

学習支援アプリで配付した学習の進め方のスライドを提示しながら流れを確認する

2 すきまちゃんの写真撮影

すきまを見つけすきまちゃんを置いた写真を撮影する

3 自己紹介カード作成

すきまちゃんの自己紹介カードを作成し、友達と参照し合う

4 見学ツアー

班で自己紹介カードを見ながらすきまのイメージを共有する

5 振り返り

振り返りカードに入力し、提出フォルダに保存する

